

第5章 教員の人材育成

1 東京都の教育に求められる教師像

(1) 教育に対する熱意と使命感をもつ教師

- ・ 子供に対する深い愛情
- ・ 教育者としての責任感と誇り
- ・ 高い倫理観と多様性に配慮した人権意識

(2) 豊かな人間性と思いやりのある教師

- ・ 温かい心、柔軟な発想や思考、創造性
- ・ 幅広いコミュニケーション能力

(3) 子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師

- ・ 常に学び続ける意欲
- ・ 一人一人のよさや可能性を見抜く力
- ・ 教科等に関する高い指導力

(4) 組織人として積極的に協働し互いに高め合う教師

- ・ 経営参画への意欲、協働性
- ・ 高い志とチャレンジ精神
- ・ 自他の安全を守る危機管理職

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」
(令和5年2月改定) より

2 教員に求められる能力と教員の資質能力の向上

教育公務員特例法等が平成28年11月に一部改正されたことに伴い、東京都教育委員会では、平成29年2月に東京都教員育成協議会を設置し、「養成・採用・研修」を一体とした人材育成等の在り方等について協議を行い、平成29年に「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を策定し、令和2年に養護教諭と栄養教諭の資質の向上に関する指標を追加した。その後、国の指針の改正を踏まえ、令和5年2月に本指標を改定した。この指標は、教育公務員特例法第22条の3第1項において規定する「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」であり、教員自らが生涯にわたって、キャリアに応じて求められる資質の向上に努められるようにしたものである。

<概要>

- 教員（主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭）及び教育管理職等（校長、副校長、教育管理職候補者）が、各職層等に応じて身に付けるべき能力を示した。その際、成長段階に応じて、学校組織の中で求められる役割や能力が段階的に高まっていくように示した。
- 教員に求められる能力として、学習指導力、生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力の4項目を示した。
- 教育管理職に求められる能力として、学校経営力、外部折衝力、人材育成力、教育者としての高い見識の4項目を示した。
- 教員及び教育管理職に共通して求められる能力として、特別な配慮や支援への対応、デジタルや教育データの利活用、教育課題に関する対応力を掲げ、職層ごとに対応できるよう、必要な役割と能力を示した。
- 公教育に携わる教員として、使命感や教育的愛情、人権意識、倫理観など、教職に必要な素養を磨き続けることが求められている。

東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。
 なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員				
職層・成長段階	教諭		主任教諭	
	基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	充実期 9年目～	
求められる役割や能力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、生活指導や学級経営において直面する課題に対して、適切に対応する。 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。 自分の能力開発について謙虚に自己研さんしに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 教育指導の専門性を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。 	
公教育に携わる者として磨き続けるもの 「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」 など				
教員が身に付けるべき力 教職に必要な素養	職層・成長段階	教諭		主任教諭
		基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	充実期 9年目～
	学習指導力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに、教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに迫るための指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。 児童・生徒の学習の状況や指導計画・評価計画を振り返り、授業改善を図ることができ 児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を行うことができる。 教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を身に付けるとともに、授業に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに迫るための指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。 教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、学習者中心の授業をすることができる。 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案することができる。
	生活指導力	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の良さや可能性を伸ばしながら、キャリア教育の計画を立てることができる。 生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。 心身の発達過程や特徴を理解し、児童・生徒と信頼関係を構築して、授業や学級での規律を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通じた自己実現を図る指導を行うことができる。 学級等の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。 生徒と信頼関係を構築して、授業や学級 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。
	外部との連携、折衝力	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会等の進め方を理解し、保護者と良好な人間関係を構築することができる。 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報発信や広報、関係機関との情報収集を適切に行うことができる。 他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。
	学級運営能力、組織員能力	<ul style="list-style-type: none"> 学校及び教職の意義、社会的役割・服務の厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に参画することができる。 担当する分掌の職務及び役割を理解し、適切に対応して校務を処理することができる。 児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当する分掌についての企画・立案や改善案を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。
	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。
	デジタルや情報・教育データの活用	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の効果的な活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善や生活指導に生かすことについて、初任者等に指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に関する、適切な指導計画を作成し授業実践等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。
	教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。

～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの姿～

			教育管理職等			
指導教諭	主幹教諭	職階	教育管理職候補		教育管理職	
			主幹教諭	副校長	校長	
11年目～						
<ul style="list-style-type: none"> 都立公立学校教員全体の授業力の向上を図る。 高い専門性と優れた指導力を活用し、自校や他校の教員の人材育成を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する職務を処理することができる。 	<p>求められる役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受けて、他教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて多面する。 学校内外との良好なコミュニケーションを築き、学校の教育力を高める方を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。 教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。 学校内外との良好なコミュニケーションの中心的役割を担い、学校の教育力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。 教職員の状況を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し・推進する。 学校内外の良好なコミュニケーションを推進して、学校をとりまわく関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。 		
			教育管理職候補		教育管理職	
指導教諭	主幹教諭	職階	主幹教諭		副校長	校長
			11年目～			
<ul style="list-style-type: none"> 模範となる自らの授業を積極的に公開するとともに、自校や他校の求めに応じて授業を觀察し、指導・助言することができる。 教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主幹や教員に指導・助言をすることができる。 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。 	<p>学校経営能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導し課題を解決することができる。 校務分掌を越えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示することができる。 コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を配置し、全教職員を教材進所に向けて、組織的に校務の課題を解決することができる。 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示し、解決することができる。 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を把握し、課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の観察や、他教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。 	<p>学校マネジメント能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等の意見を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。 緊急時には適切に判断し、課題解決のための中心的役割を担うことができる。 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域、社会の教育資源の活用や関係機関等との連携を積極的に進め、校務の助言を受け、適切に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用し、学校改革を行うことができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 	<p>人材育成能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校長と共に授業観察等を積極的にに行い、全教職員の個性や能力を把握し、校長と共に教職員に課題等と人材育成を行うことができる。 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向かい合う研修環境を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補等の人材発掘と人材育成を行うことができる。 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を推進して教職員の自律的な成長を促し、人材育成を活性化することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 学校経営マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整を担うとともに、管理職と十分協議し、校長の指示の下、学校運営を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教員を取り巻く環境の変化に合わせて常に学習し続けるとともに、指導力の向上に関する教員の人材育成を推進することができる。 学校経営マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整を担うとともに、管理職と十分協議し、校長の指示の下、学校運営を行うことができる。 	<p>高い教育見識</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都教育委員会及び所屬する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、保護者等のニーズを把握し、教育課題や児童生徒に関する見解を生かして、校長の学校経営方針を具現化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化を的確に捉え、教育に対する地域、保護者等からの期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 主任指導への指導・助言や教員を促すために、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。 特別支援教育コーディネーターやS.C、S.W、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任指導への指導・助言や教員を促すために、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。 特別支援教育コーディネーターやS.C、S.W、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。 	<p>特別な配慮や支援への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的方策を、提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織構築を行い、組織全体で推進することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に向けた模範となる授業を実施することができる。 児童・生徒の学習改善を図るために、教育データを活用した授業を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の効果的な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体の体系的な指導を推進することができる。 教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。 	<p>デジタルや教育データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を提案することができる。 校内のデジタル等の活用の推進を管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を策定し、教職員に示すことができる。 デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。 デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織構築を行い、点検・評価し、改善することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 		

東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）

本指標は、教員自身が資質の向上に努められよう、職務や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下の職務や成長段階で示されているのは、既に身に付けているものと構成しています。

		教 員		
職務・成長段階		栄養教諭 基礎形成期・伸長期 1年目～	主任栄養教諭 充実期 3年目～	主幹教諭(栄養) 5年目～
求められる役割や能力		<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導を推進するとともに、学校栄養職員としての知識や経験に基づき、同僚や教諭等、及び地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 食に関する指導や学校給食の管理における栄養教諭としての基礎的な力を身に付けることも実践に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行い、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。
<p>公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など</p>				
教員が身に付けるべき力 教職に必要な素養	職務・成長段階	栄養教諭 基礎形成期・伸長期 1年目～	主任栄養教諭 充実期 3年目～	主幹教諭(栄養) 5年目～
	学 習 指 導 力 学 習 指 導 力 の 関 連 する 力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解することができる。 学校担任等と連携し、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行い、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に対応することができる。 学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識・技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 専門的な知識・技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うために、実習や課題を捉えて解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。 教育課程に基づき総合的かつ詳細な教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や改善改善進捗グラフ、評価計画等を作成することができる。
	進 路 指 導 力	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導上の課題に直面し、他の教員に相談しながら解決することができる。 生活指導上の課題に直面し、他の教員に相談しながら解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 児童・生徒がもつ居たりの悩みや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人物の成長への援助を行うことができる。 児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもちせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。
	外 部 と の 関 係 力	<ul style="list-style-type: none"> 教育推進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組みを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うために、円滑な関係を築くことができる。 自や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通して、教育活動を充実させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言を行うことができる。 保護者・地域・関係機関からの要望に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。
	組 織 運 営 力	<ul style="list-style-type: none"> 学校及び教諭の意義、社会的役割・服務の厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に関与することができる。 食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案することができる。 児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言をすることができる。 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進捗管理や分掌間の課題を捉えるとともに、管理職と十分協議して、校長の指示の下、学校運営することができる。
	特 別 な 配 置 や 支 援 を 必要 と する 子 供 へ の 対 応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に關して身に付けられた知識に基づき、児童・生徒の発能を支援するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童・生徒のニーズに対応するため必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭等への指導・助言や協働を通して、校内の特別な配慮等が必要となる児童・生徒の実践・教育を積極的に推進することができる。 特別支援教育コーディネーターやPC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。
	デ ジ タ ル 技 術 利 用 力	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用して、児童・生徒の食に関する指導や学校給食の管理を効果的・効率的に進めることができる。 教育データを活用し、児童・生徒の食育や生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用して児童・生徒の食に関する課題を把握し、適切な指導計画を作成し食に関する指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 児童・生徒の学習改善を図り、食育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の果敢な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体の体系的な指導を推進することができる。 教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。
	教 育 課 題 関 連 する 対 応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するとともに、課題に対する見解をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題について高い専門性を持ち、指導力を身に付け、学校組織における心豊かな教育経営とともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に向けて指導・助言することができる。

～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

教育管理職等				
職層	教育管理職候補		教育管理職	
	主幹教諭	副校長	校長	
求められる役割	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外との良好なコミュニケーションを実践し、学校の教育力を高める方策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外とのコミュニケーションの中心的役割を担い、学校の教育力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外との良好なコミュニケーションを推進して、学校をとりまく関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。 	
教育管理職等				
職層	教育管理職候補		教育管理職	
	主幹教諭	副校長	校長	
学校マネジメント能力	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針に基づき、担当した分野における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌を越えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示し、解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的な方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校長と共に授業観察等を積極的にを行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報による人事課課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向かう研修環境を整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を推進して教職員の自発的な成長を促し、人材育成を活性化することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 高として見識 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者等のニーズを把握し、教育課題や教育施策に関する見識を生かし、校長の学校経営方針を具現化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化を的確に捉え、教育に対する地域・保護者等都民の期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> デジタルや教育データの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を策定し、教職員に示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する対応 	<ul style="list-style-type: none"> 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題について高い専門性を備えた指導力を用いて、管理職に具体的なかつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的なかつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	

東京都立学校の校長・副校長及び教員としての責務の向上に関する指針（教員養成）～教職生活を通じて学び続ける、新たな教職の学びの実現～

本指針は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職責や成長段階に応じて実行できる方を示しています。なお、現在よりも下位の職責や成長段階で示されている方は、既に身に付いているものとして扱われています。

教 員			
職 階 ・ 成長段階	養育教諭		主任養育教諭
	基礎形段階	併長期	充実期
	1～3年目	4年目～	9年目～
求められる 教養や能力	<ul style="list-style-type: none"> 養育教諭の職責において直面する諸課題に対して、適切に対応する。 保健管理や保健指導、保健室における養育教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任養育教諭を補佐しながら、分掌領域の一員として職務を遂行する。 自分の能力開発について課題に自己責任をもち、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 専門的な知識・技能を活用し、生徒を支援するとともに同僚や教諭等に対して指導や支援を行うことができる。
公教育に携わる者として働き続けるもの「使命論」「教育活動論」「人際意識」「倫理観」など			
職 階 ・ 成長段階	養育教諭		主任養育教諭
	基礎形段階	併長期	充実期
	1～3年目	4年目～	9年目～
教 員 に 必 要 な 素 養	学習指導力・ 保健管理に 関する力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図るとの意義を理解し、各科担任や学習担任と連携し、養育教諭や専門性を生かした保健教育を適切に行うことができる。 児童・生徒の健康状態を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同僚や教諭等と協働した保健教育や、指導上の課題を捉えたい指導・助言をすることができる。 児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、課題や課題を捉えて解決策を提案することができる。
	生活指導力・ 連絡指導力	<ul style="list-style-type: none"> 他の教員と連携し、健康指導や身の健康観察、情報収集を行いながら、児童・生徒を支援することができる。 生活指導上の課題に高度にスキル、管理職等と報告し、関係者と相談しながら解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内支援体制の役割を担い、個別の保健指導や健康相談を行いながら、児童・生徒と信頼関係を構築することができる。 学年や学校の生活指導上の課題について共に検討したり、効果的な指導方法について発言したりすることができる。 各校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 各校の児童一人一人の可能性や活躍の場を引き出す機会づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。
	外部との連 絡・折衝力	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを取り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。 情報収集や相談、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。
	学校運営力・ 組織運営力	<ul style="list-style-type: none"> 学校及び職員の意義、社会的役割・価値の確立に努め、組織の一員として、学校保健計画の策定などの役割に積極的に参加することができる。 保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健活動を行うことができる。 児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危機を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健計画の策定を担当する役割について、立案や改善策を提案するなど、校務・協働的に参加し、組織内で自らを成長させることができる。 学校の収支や制度、生徒の実態を踏まえて保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健活動を行うことができる。 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等と指導・助言することができる。 学校の健康課題を解決するために、保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健活動を行うことができる。 学校の課題を捉え、対応策について管理職や主幹教諭と連携することができる。
	特別支援教育等 を必要とする学 生への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に携わっている生徒に知識を蓄え、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を支えることができる。
	デジタルや情報 ・ 教育への活用	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用して、児童・生徒の健康状態の把握・分析や保健管理を効果的・効率的に進めることができる。 教育データや保健室の情報を活用し、児童・生徒の健康上の課題を見いだし、保健教育に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康課題の把握に役立てることができる。 児童・生徒の健康上の課題を見いだし、保健教育に活かすために、教育データや保健室の情報の活用について、関係者と指導・助言することができる。
教育課題に 関する 対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する法的な責任や学習指導要領の規定を把握するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての理解を深め、主任養育教諭を補佐し、分掌領域の一員として、課題解決のために貢献することができる。 	

教育管理職					
主幹教諭 (兼務)	職種	教育管理職候補		教育管理職	
		主幹教諭	副校長	校長	
11年目～					
<ul style="list-style-type: none"> 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に参与する。 教員に対して指導・助言、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する役割を処理することができる。 	求められる役割	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受け、他の教員に対してリーダーシップを発揮することや副校長を支援、管理職として必要な学校経営ができる方者に行ける。 教職員とのコミュニケーションにより自校の問題を捉えて解決策を立案し、問題解決に向けて実施する。 学校内外との良好なコミュニケーションを構築し、学校の教育力を高める方策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の見直しに向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教務活動の中心者となり、校長と共に学校を支える。 教職員の状況変化を察知し、組織的な調整に向けて、校長と共に働きかけや編成調整を推進する。 学校内外との良好なコミュニケーションを構築し、学校の教育力を高める方策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の実態把握に基づき、学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮される人材配置と働きかけや編成調整を構築し、推進する。 学校内外の良好なコミュニケーションを推進して、学校ととりまく関係者の相互信頼により、学校の教育力を最大化する。 	
教育管理職					
主幹教諭 (兼務)	職種	教育管理職候補		教育管理職	
		主幹教諭	副校長	校長	
11年目～					
<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の実現状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることが出来る。 教育課題に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の関係機関計画や年度計画連貫プラン、評価計画等を作成することができる。 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導等を実施して、指導することができる。 児童・生徒の理解や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の課題や問題点を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や教務活動の立案を提案し、実行することができる。 	学校マネジメント能力	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針に基づき、担当した分野における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。 授業内容と進んで学校経営に課せられる様々なデータや内外環境に関する情報収集・整理・分析し、管理職に報告することができる。 コンプライアンスを認識して、手続等の未熟禁止のための具体的な方策を提案し、関係者には適切に説明し対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を踏まえ、全教職員の育成計画に配置して、組織的に学校の質を向上させることができる。 学校経営に課せられる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員と連携して提案し、解決することができる。 様々な危機に想定した事業等の未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した実施指導を推進することができる。 緊急時には適切に判断し、問題解決のための中心的役割を担うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営の推進のため、組織上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 	
	外部連携力	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を促すための方策を管理職に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等からの意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係機関との連携や情報収集に導いて、校長の意向を受け、適切に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。 	
	人材育成力	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学習指導等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報や管理職と適切に提示することができる。 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。 夏期教育委員会及び所属する区町村教育委員会の教育目標や教育実務を理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校長と共に、授業や学習指導等について、全教職員の適性や能力を把握し、働きかけや人材育成を行うことができる。 教育課題や教職員のニーズに対しては、組織的に校内研修やPT等を実施し、教職員の自主的な成長を促し、人材育成を推進することができる。 地域や保護者のニーズを把握し、教育課題や情報収集に関する見直しを行い、校長の学校経営方針を見直しすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報による人事評価制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者の人材選抜と人材育成を行うことができる。 教育課題や教職員のニーズに対しては、組織的な校内研修やPT等を実施して教職員の自発的な成長を促し、人材育成を推進することができる。 社会の変化の激しい中、教育に関する地域、保護者等からの期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育実務に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。 	
	教育者としての高い見識	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内研修や個別の具体的な方策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する特別研修等を推進し、関係機関と連携して実践を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応について、学校全体を取り組むための組織的体制を行い、組織全体で推進することができる。 	
	教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や活用率の向上に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の向上に向けて学校全体や個人レベルでの研修を推進することができる。 デジタルツールを活用した業務の効率化を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの活用や授業のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。 学校のデジタル等の活用や推進を推進し、改善に向けた指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校におけるデジタルの活用や活用率の向上に向けた研修計画を策定し、実践を図ることができる。 デジタル等を効果的に活用した学習環境の組織的体制を行い、点検・評価し、改善することができる。 	

3 教員研修の実施

教員に求められる基本的な力を確実に育成するため、経験や職層に応じた研修や、教員の専門性を高める研修を実施している。

詳細は、251ページを参照